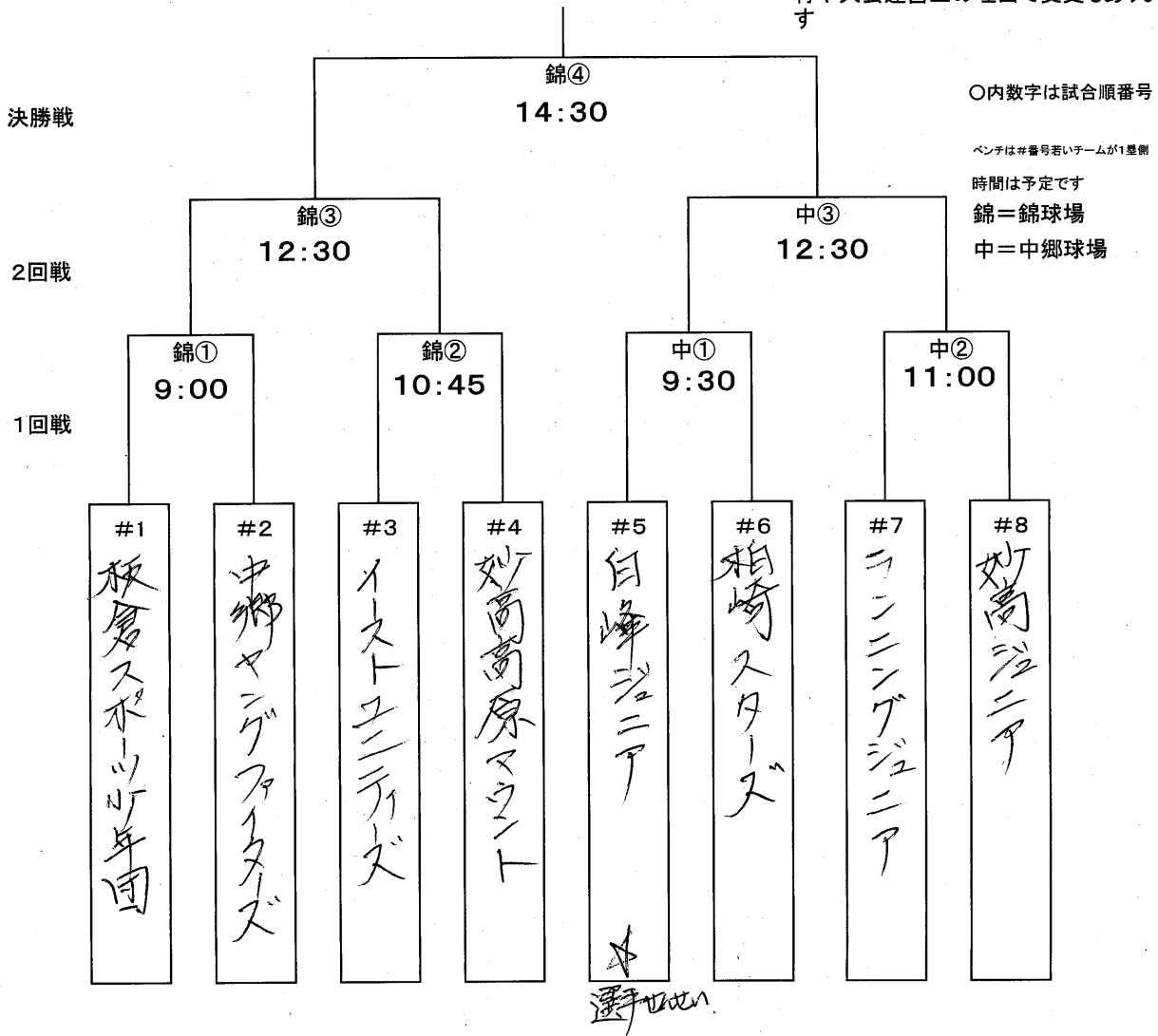


第11回新井早朝野球連盟杯争奪 幼年野球大会

★試合開始時間については試合の進行や大会運営上の理由で変更もあります



交流戦

第1試合敗者チーム 第1試合敗者チーム

_____ チーム VS _____ チーム

第2試合敗者チーム 第2試合敗者チーム

_____ チーム VS _____ チーム

審判	新井総合公園 錦球場				中郷球場			
	主審	1塁審	2塁審	3塁審	主審	1塁審	2塁審	3塁審
第一試合	連盟		#1	#2	連盟		#5	#6
第二試合	連盟		#3	#4	連盟		#7	#8
第三試合	連盟		1塁 ベンチ	3塁 ベンチ	連盟		1塁 ベンチ	3塁 ベンチ
第四試合	連盟	連盟	連盟	連盟				

第11回新井早朝野球連盟杯争奪 幼年野球大会要綱

- ① 主催 新井早朝野球連盟
妙高頸南野球連盟
審判部
- ② 後援 新井頸南地区幼年野球チーム
- ③ 期日 平成27年11月3日(火曜日 祝日)
予備日 11月7日(土曜日)・8日(日)
選手集合 7:30 代表者会議 7:45 予定
開会式 8:00
(中止の決定 6:00 090-3333-4157 事務局 小島)
- ④ 会場 妙高市 新井総合公園野球場 錦球場 (開会式会場)
中郷総合公園野球場 上越市中郷区江端
他 新井南小学校 G 予定
妙高市除戸1887 0255-75-2222 (交流試合会場)
- ⑤ 参加予定チーム 8チーム
白峰ジュニア チーム
ランニングジュニア チーム
板倉スポーツ少年団 少年野球クラブ チーム
妙高ジュニア チーム
中郷ヤングファイトース チーム
妙高高原マウントガッツ チーム
柏崎スターズ チーム(連盟招待)
イーストユニティーズ チーム(連盟招待)
- ⑥ 入 賞 優勝チーム 賞状 優勝トロフィ
優勝メダル (登録メンバー分20個)
準優勝チーム 賞状 トロフィ
第3位チーム 賞状 (2チーム)
最高殊勲選手賞 1名 トロフィ
優秀選手賞 1名 トロフィ
敢闘賞 8名 メダル
- ⑦ 参加料 1チーム 5,000円
(大会当日にお願いします)
- ⑧ 運 営 全試合5回戦。1時間15分を超えての新しいイニングに入らない
同点の場合はエキストライニング
外野境界線をゴロで超えた場合はインプレーで継続
(直接超えた場合はホームラン)
シートノックは原則として各1回戦のみ7分間
試合球、ロージンは連盟にて準備
ベンチ入りの選手は大会運営上支障のない人数とする
ベンチ入りの保護者等はベンチ運営上適当と思われる人数とする
当日の登録選手変更を認める
ボール回しについては原則として行わない
傷害保険については各チームにて加入願います
決勝戦終了後閉会式(開会式会場)
- ⑨ その他 1回戦敗退チーム 交流戦予定

新井早朝野球連盟杯争奪幼年野球大会 規定

- 競技場の大きさと区画
野球競技場の区画線は、競技者必携の「学童部」の距離を基本とする。
塁間距離 23.0m
投手板と本塁間の距離 16.0m
本塁ベースの大きさ 正面 38.0cm 側面 19.0cm 斜面 26.9cm
本塁から両翼 70.0m 本塁から中堅 85.0m
ただし、外野フェンスの無い競技場において、ラインで境界を表す場合は本塁より左翼及び右翼並びに中堅までの距離に1m加算する。
前記境界線を直接越えた場合は本塁打とし、ゴロで越えた場合（打球に触れたかどうか問わない）は競技場により協議する。（二塁打・インプレー）
 - 大会運営
競技場は、使用球場によって異なるため試合毎に当日の審判員が説明するので、各チームの代表者は第一試合開始の30分前に集合する。
 - 試合時間
一回戦から準決勝戦までは5回戦とし、制限時間は1時間20分とする。ただし、試合時間が1時間15分を超えて新しい回（イニング）には入らない。
決勝戦は7回戦とし、制限時間は1時間40分とする。
ただし、運営上の理由により変更できる。この場合は大会前または試合前に決定する。
 - コールドゲーム
5回戦の場合は、3回以降10点差にてコールドゲームとする。
7回戦の場合は、5回以降10点差にてコールドゲームとする。
また、5回戦の場合3回を均等に終了し、7回戦の場合5回を均等に終了して、暗黒及び降雨により試合を中止した場合は「コールドゲーム」とする。
 - 特別延長戦（エキストラ方式）
制限時間を越えて同点の場合は、特別延長戦を行い勝敗を決定する。（「エキストラ方式」とはノーアウト・ランナー1・2・3塁、バッター4番より行う。）
なお、運営上の理由により「抽選」により勝敗を決定する場合もある。
 - 攻守の決定
試合開始30分前に監督及び主将は、オーダー用紙3枚（フルネーム、背番号を記入）を用意して大会本部に集合し、登録原簿の照合を受けた後、球審の立会いのもとにジャンケンにより攻守を決定する。
 - ベンチ
ベンチは、組み合わせ抽選番号の若い方から1塁ベンチとする
 - 試合数
1日の試合は、1チーム原則として5回戦の場合は3試合、7回戦の場合は2試合とする。
 - ベンチ入り人数
ベンチに入れる人数は、次のとおりとする。
○登録されたユニフォームを着用した選手（20名以内）
○登録されたユニフォームを着用した監督（30番）コーチ2名（29番、28番）
- スコアラー1名、チーム責任者1名
 - 試合ボールは、C号公認軟式球とする。
 - 試合中の抗議及びアピールは、当該選手及び監督とする。
ただし、審判の判定（アウト・セーフ・ストライク・ボール）に対する抗議は受け付けない。
 - 装具
○打者、次打者、走者及びベースコース手は、SGマークの付いた連盟公認の軟式野球用のヘルメット（両耳にイヤーフラップの付いたもの）を着用する。
○金属バットは、JSBBマークの入った公認のものを使用する。
○捕手は、公認のマスク、プロテクター、レガース及びヘルメット（マスクと分離）を着用する。また、危険防止のためスローロートガードを必ず着用する。
○金属製の刃の付いたスパイクは使用禁止とする。（同系色、同意匠が望ましい）
○打者及び投手以外の捕手と野手は手袋の使用を認める。（打者は走者に出たら外すこと。守備につく場合に利用できるのは守備用の手袋。）リストバンドの使用は認めないこと。
 - 投手の交代
○投手は、変化球を禁止する。注意したのにもかかわらず再度投球した選手は、交代させる。（変化球に対しては「ボール」を宣告する。）
○同一投手が過度の投球数にならないようにすること。
○「同一イニングに二度監督が投手のところに行くか指示を与えた場合、投手は自動的に交代しなければならない」事項は当連盟運営大会には適用しない。
しかし、頻りに投手のところへ行く場合は、タイムを制限する必要がある。
 - ベンチ内マナー
○ベンチ内の携帯電話の使用及びマイクは禁止する。ただしメガホンの使用を認めるが各チーム1個限りとする。
○試合中喫煙のためベンチの出入りを禁止する。
○試合中は、言動に注意し個人的批判及び相手側の不利になる発言は厳禁とする。
 - 試合中の禁止事項
危険防止のために以下のプレーを禁止する。
○空タッチ及び走路妨害
○足を高く上げてのスライディング
○1塁への打者走者のヘッドスライディング
16. この規定に記載されていない事項は、「公認野球規則」及び「競技者必携」によるものとする。

平成17年制定

平成20年一部改正

平成22年一部改正